

庁舎の建設場所は「山村開発センター敷地」に

平成24年5月に、庁舎建設並びに消防庁舎建設検討特別委員会（大金市美委員長）を設置し、庁舎の建設場所及び消防庁舎の建設場所について今年8月9日まで、合計16回の委員会を開催して、意見の集約を行った。

その結果、庁舎の建設場所は、山村開発センター敷地、消防庁舎の建設場所は、都付近と意見が集約され、今定例会において、大金委員長から最終結果が報告されました。



現在の山村開発センター敷地

第2回議会改革に関する研修会を開催



第2回議会改革に関する研修会

議会改革特別委員会（鈴木雅仁委員長）では6月19日に引き続き、新潟県立大学准教授の田口一博先生を講師に迎え、第2回議会改革に関する研修会を小川総合福祉センターで開催しました。

今回は、議会改革特別委員会小委員会で9回にわたって検討してきた議会基本条例案を示したうえで、田口先生からご意見を伺いました。田口先生からはまず、出

来るところからということ、若い人の意見を聴くことから始めてはどうか。

また、議会基本条例は、住民との関わり合いなど、最初から細かい部分まで条例化する必要はなく、実際に実施して検討し、実施が可能と判断出来た時点で条例の制定をするべきということや、制定後、改正を行ういながら着実に進めていくのも一つの方法であることなどのお話がありました。

全国町村議会広報研修会に参加して

議会広報特別委員会委員長 塚田 秀知

年四回発行している議会だよりを、「住民の皆さんにどうしたら愛読してもらえるか」それを念頭に9月30日から2日間、全国町村議会広報研修会に臨みました。

1日目は、「通じる・人を動かす！文章を書く」、「広報紙面デザインの基礎知識」、「デジタル時代の写真技術」と題しての講義がありました。

2日目は、当町の議会だよりのクリニック（診断）を受け、講師から①記事は、内容が盛りだくさんすぎる。②一般質問のページについては、総括質問方式で掲載しているが、一問一答方式の方が分かりやすい。③見出しについては、主見出しは8文字以内がベスト、見出しが長すぎるなどの指摘を受けました。

これらの指摘事項については、今後出来る限り改善を図っていきたいと

考えております。

今回の研修を受講して得たことは、記事の内容については真実の報道をに徹するべきであること。また、発行のタイミング（時期）については、町民の皆さんに出来るだけ早く届けることが重要であると痛感しました。

これからも、町民の皆さんに手にとって頂けるような、魅力ある議会だより編集に心がけていきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。



真剣なまなざしで受講する委員